

## ふくしまエコオフィス実践計画の実績について

### 1 2022（令和4）年度実績

#### （1）温室効果ガス総排出量

	2013 年度 (基準年度)	2022 年度	2022 年度 (基準年度比)	2030 年度 目標 (基準年度比)
温室効果ガス総排出量 (t-CO2)	75,370	64,067	85.0% (▲15%)	36.0% (▲64%)

2022 年度における本県の温室効果ガス総排出量は、2013 年度（基準年度）と比較して 11,303t-CO2 の削減となりました。公用車の電動化や WEB 会議等が定着したことによる出張の減少によりガソリン・軽油の使用量が減少したこと等が要因と考えられます。

#### （2）エネルギー使用量等

	2013 年度 (基準年度)	2022 年度	2022 年度 (基準年度比)	2030 年度 目標 (基準年度比)
電気使用量 (kWh)	79,633,208	82,864,923	104.1%	69.1%
重油使用量 (L)	2,682,649	2,367,950	88.3%	89.6%
灯油使用量 (L)	2,845,874	2,797,694	98.3%	89.4%
都市ガス使用量 (m <sup>3</sup> )	169,210	150,794	89.1%	90.0%
LP ガス使用量 (m <sup>3</sup> )	76,639	96,451	125.9%	83.6%
ガソリン使用量 (L)	4,111,761	2,869,127	69.8%	47.1%
軽油使用量 (L)	760,592	559,017	73.5%	61.6%
上水使用量 (m <sup>3</sup> )	864,227	761,975	88.2%	92.0%
コピー用紙等使用量 (枚)	220,474,629	194,602,378	88.3%	59.9%
廃棄物排出量 (kg)	2,535,317	2,678,338	105.6%	92.0%
リサイクル率 (%)	20.0	17.9	—	30.0%
グリーン購入 (%)	97.4	89.0	—	調達目標以上

エネルギー使用量については、電気及び LP ガス以外は 2013 年度と比較して減少しました。新型コロナウイルス感染症や災害対応等に伴い、直近では増加傾向にあった項目もありましたが、それらの対応が落ち着いたことや暖冬の影響等により減少しました。

一方、電気使用量は新型コロナウイルス感染症対応のため業務量が増加したことや執務室内の換気に努めたこと等により近年増加しており、2022 年度も節電等に取り組み、前年度との比較では減少しましたが、2013 年度との比較では高くなりました。LP ガス使用量は

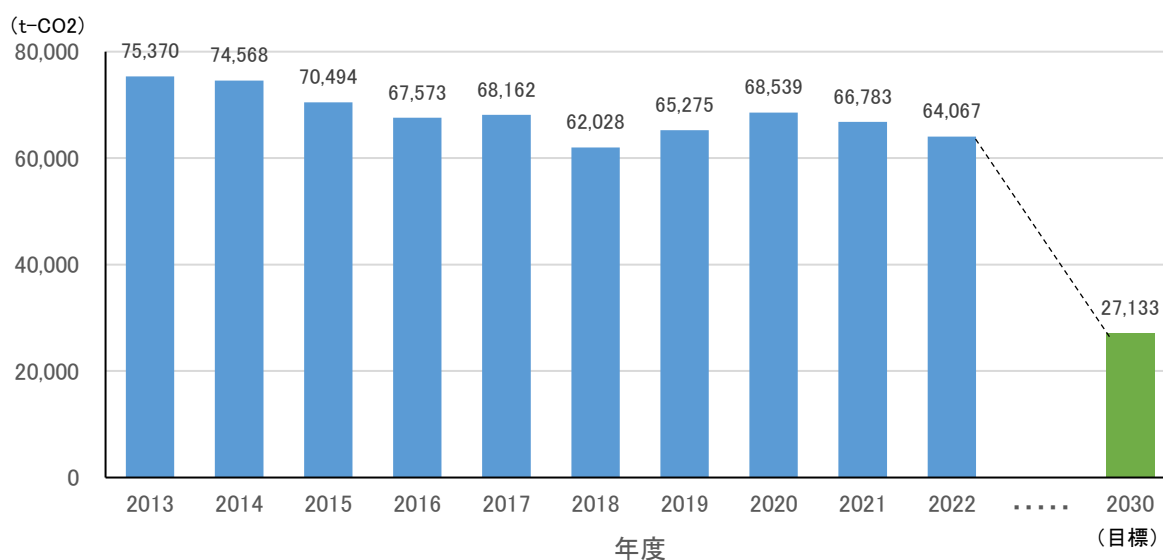
2013年度以降、高い状態が続いています。いずれも2013年度以降の組織新設や施設移転等に伴う設備変更による使用量の増加と考えられます。

エネルギー使用量以外では、コピー用紙等使用量が、裏面使用や集約印刷の取組のほか、ペーパーレス化や会議資料等の電子化等の推進により減少しています。

### (3) その他

- 太陽光発電設備を3施設で計 546kW 導入しました。(目標(2022年度以降の新規導入 5,000kW 以上)に対して 10.9%)
- 公用車(市場に代替可能な電動車がないものを除く)における電動車<sup>1</sup>の保有割合は 20.2% でした。

## 2 温室効果ガス総排出量の推移



<sup>1</sup> 電動車：電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車を指す。